

## 大会ルール

作成 2017/11/1

### A: 勝敗

- 1: 奇数人のジャッジが各ラウンドの勝敗を決定する。
- 2: ジャッジは、一般常識を持った一市民としての知識を用い、より合理的で論理的で説得力のあるチームに投票する。
- 3: ジャッジは、判定に関して他の人と協議を行うことはできない。

### B: サイド

- 1: ディベートにおいては、選手は肯定側と否定側に分かれる。
- 2: 肯定側は与えられた論題を支持する立場をとる。
- 3: 否定側は与えられた論題を反対する立場をとる。
- 4: それぞれのチームは与えられた立場で論題について議論をすることとする。

### C: 試合形式・フォーマット

- 1: 論題が発表されてからの準備時間は20分とする。

#### 2: 試合のフォーマットは以下のものを用いる。

- ① 肯定側第一立論:5分
- ② 否定側第一立論:5分
- ③ 肯定側第二立論:5分
- ④ 否定側第二立論:5分
- ⑤ 否定側最終弁論:3分
- ⑥ 肯定側最終弁論:3分

※第1立論・第2立論・最終弁論はそれぞれNorth American styleに於けるPM/LO, MG/MO, PMR/LORに相当するものとします。

※スピーチについては若干の延長も認められるが、原則として15秒以上本来のスピーチ時間を超過した内容については勝敗に反映されないものとする。

- 3: ラウンドの最後の2つのスピーチは、新しい議論を提出することができない。

- 4: 一チームは2~3名で構成される。2名の場合は

- 5: スピーチは日本語でスピーチをすることとし、証拠資料の引用は認められない。

### D: 定義

- 1: 肯定側が論題の用語について定義する責任をもつ。
- 2: 否定側は肯定側が定義した論題が不当な定義と判断した場合、定義について議論をすることが可能である。ただし、その場合は否定側が再定義をする責任がある。
- 3: 肯定側の定義について野党側から議論がない場合、用語の定義は肯定側の定義を否定側は認めたとジャッジは判断し、またジャッジはその定義を試合中は採用することとする。

### E: POI

- 1: POIは、フォーマットの①から④のパートの中で、スピーチをしているチームに対して、スピーチをしていないチームがそのスピーチ内容についてスピーチ中に質問をすることが可能とする。

- 2: POIはフォーマットの①から④のパートの最初の1分後、終了の1分前の間で実施される。それ以外の時

間、パートについては行えず、POIをした場合、それは無効とする。

3: POIをする時間は15秒間とする。POIをされたスピーカーは15秒以上相手チームからPOIをされた場合、それをジャッジに指摘することができる。これはPOIで質問をされる時間、また回答する時間もスピーチ時間に含まれるためである。

4: スピーカーは、次のいずれかの方法でPOIに回答、拒否することができる。

a) オファーを拒否する明確なジェスチャー

b) オファーの言葉による拒否

c) オファーの口頭による回答

5: スピーカーはPOIを1回以上回答しなければならない。